

研究協議会 お疲れさまでした！

9月7日の課題部会研究協議会には、たくさんの方にご参加いただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。また、アンケートの回答もありがとうございました。以下、皆さんからのご意見の一部を掲載しています。このご意見をもとに次年度以降の研究を進めていきたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

アンケート結果

(1) 今回の研修会は、あなたにとって有意義な内容でしたか。以下の該当する数字を○で囲んでください。

4 有意義だった	57名
3 概ね有意義だった	39名
2 あまり有意義ではなかった	4名
1 有意義ではなかった	0名
	100名

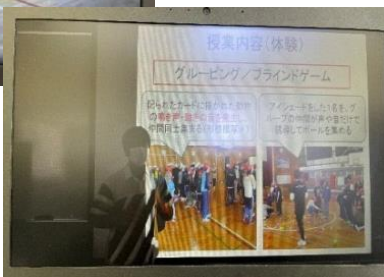
(2) 今回の研修会に参加しての感想・意見等をお書きください。(アンケートより一部)

<ボランティア教育>

- ・研修の仕方がこれまでと異なりオンデマンド研修でしたが、有意義な研修となりました。
- ・集まって研修をすることが難しかったが、今回のような内容の研修は実践できる場がやはり必要であると感じます。
- ・ボランティア教育を実施する場合、マネジメントが重要であることがよくわかり、勉強になった。形式的にやればよいという現状を改善するには、教員の意識向上と十分なマンパワーが不可欠であり、そのための予算が必要であると再認識した。
- ・実際に対面しての講義や実技を行うことができなかつたのはとても残念ですが、動画を準備していただき大変良かったです。特に、実技の「バルシューレ」は、とても上興味深く学習することができました。
- ・身近にある用具を使っていろいろなことができるなど改めて思いました。運動が苦手な子が増えている中で、楽しませる方法を知ることができよかったです。
- ・コロナが収まったら、実際に「バルシューレ」を体験してみたい
- ・アダプテッド・スポーツの体験、あるいはパラリンピック出場者の講演が聞けたら。
- ・若者の社会的自立を支援する団体、松田 考さんのお話を聞いてみたいです。また来年度開校する札幌市立星友館中学校についてお話しできる方の講演を聞いてみたいです。
- ・スポーツを通じて共生を目指す取り組みを続けてほしい。
- ・以前にもボールボールやボッチャ、ブラインドサッカーなど経験させていただきましたが、パラリンピックにあった種目や競技に触れる機会があるとやっぱり嬉しいです。
- ・大山先生からさらなる実践を教わりたい。

<コミュニケーション>

- 集会形式で実践を交えながら行うことがベストではありますが、動画視聴しながらだと、重要(と感じた)な部分を止めたり、繰り返したりしながら研修を行うことができました。
- オンデマンドでの研修により、会場への移動負担がなくなるという利点もあったかと思います。
- レポート集の配付について、担当の方の負担軽減のためにもデータで各校に送るとするのは、今後も継続して良いと思いました。
- たくさんのレポートが提出されており、いろいろな形でのコミュニケーションの取り方を知ることができました。
- ▲グループで交流ができるようになるといいなあとしみじみ思いました。
- ▲繰り返しの視聴ができる点は「オンデマンド配信」は良かったと思った。でも、「生・講演」の方が、講師の熱量や想いが伝わりやすいですね。
- 動画配信だったため、ボランティア教育分科会の動画も拝見させていただきました。こんな機会でなければ拝聴できなかったのも、得をした気分でした。
- 「こういう場合どうしたら良いか」「何と言えば良いか」、という事だけではなく、こどもの話を聞く上で、大切な「教師の心構え」や「児童の様子の見取り方」など根本となるものを話して下さっていました。どうしたらよいか頭では分かっているものの、「子どもが答えを出すことを信じて待つ」ということが自分ではできていなかったと思いました。
- ▲研修は初歩的な内容だったのでできればもう少し踏み込んだ内容だと参考になったかなと思いました。でも、再確認にはなりました。
- 子どもの話を聞いたら「解決してあげなければいけない」と思っていたのですが、「相手を理解しようとする姿勢を示す」ことが大切だということがわかってなんだかほっとしました。
- 本校では、SSWの方に大変お世話になっており、担当児童についても情報を共有でき、助かっています。今後、不登校児童や行き渋りなどの事例が増えてくると思われるが、子どもの対応、その保護者の対応など知識技能がないと難しいことも多々あると感じた。このような講演があると非常に参考になる。
- ・内容は一任しますが、初歩的な知識はみなさん知っていると思うので、もう一歩踏み込んだ内容にするか、あるいは全く変えて、「しくじり先生」みたいな感じも面白いかも。
- ・引き続き、佐藤先生の話を知りたいです。さらに、もっとたくさんの事例とその時の経験などをお聞かせ願いたいです。
- ・カウンセリングとても勉強になったので、パート2も良いかなと思います。
- ・今回の後半の部分を詳しく聞いてみたいし、質問コーナーみたいな時間がとれたらいいと感じました。
- ・臨床心理士の方のお話を聞く。または、カウンセラーの方のお話を聞く。行動と心の関わりを学べる講座が良いです。
- ・生徒や保護者とコミュニケーションをとるのが上手な先生や養護教諭などの実践報告(お一人ではなく、2~3名の方から)



非言語的反応を含めてフィードバックをみる



そうですね、私もそうかなと思ったんですけど。



そうですね、私もそうかなと思ったんですけど。

<難しい>
気持ちが表情に出ない子
相手に気を使って合わせる子
そもそも自分の感情が分からない子



生徒指導提要に書かれているスクールカウンセラー

<連携について>

「連携」とは何か問題があった場合に、「対応のすべてを相手に委ねてしまうこと」ではありません。学校で「できること」「できないこと」を見極め、学校ができない点を外部の専門機関などに援助をしてもらうことが連携なのです。専門性や役割が異なる専門家が協働する相互作用の過程です。

互いに違う専門性をもつ人々が信頼関係を基に児童生徒に関して情報共有し、それぞれの専門的な視点から意見を述べ合うことで、事態を変えていくことが多職種連携と考えられます。